

第40回 向日市上下水道事業懇談会 議事録

日 時 : 令和5年12月15日(金) 午前10時15分から正午まで
場 所 : 上植野浄水場 大会議室(2階)
出席者 : (委 員) 宇津崎委員他6名(3名欠席)
(事務局) 都市整備部長他9名

1 部長あいさつ

2 議事

議事1 【令和4年度 上下水道事業会計決算報告について】

事務局説明

- ・令和4年度 水道事業会計決算報告について 事務局説明

○質疑

委員 行政区域内人口と給水人口が一致しており、普及率が100%となっているが、現実的には井戸だけで生活している人もいるのではないか。

また、基幹管路の耐震適合率について、良い地盤でのK型管や耐震適合性のある管の延長について、もう少し解説してほしい。

事務局 井戸だけで生活している方は、市内にはいない。

事務局 硬い良い地盤に埋設されているK型管については、耐震適合と認められており、その延長が2,255mあるということである。

委員 耐震管と耐震適合管の違いは。

事務局 耐震管は、NS管などの耐震管である。耐震適合管は、耐震管と良い地盤でのK型管との合計である。

会長 そのような説明を資料に記載してほしい。

会長 有収率93.2%とあるが、他の自治体はどのような状況か。

事務局 市町村によってまちまちであるが、向日市はおおむね平均よりやや良い状況である。

委員 収益的収支について、収入と支出を比較すると収入が多いので、良い結果であると理解してよいか。

事務局 純利益が6,000万円ほど出ている。

委員 純利益は次年度の修繕などに使われるのか。

事務局 収益的収支については、収入が支出よりも多く利益が出ているが、資本的収支については、収入よりも支出が多くなっている。

この資本的収支の不足額は、他の財源で補填することとなるが、前年に出た

利益は、翌年の不足額に充てるので、1年越しで不足額を充当する財源となる。

- 委員 雑収益について、西向日の駐車場があるが、この土地は将来的にも同様の活用を行っていく予定か。
- 事務局 以前あった倉庫については、取り壊し移転した。近隣から駐車場としての需要があれば、駐車場を拡大することも考えられる。
- 委員 本来の事業目的にふさわしい、土地利用であれば問題ないが、遊休資産なのかと思った。
- 事務局 西向日駐車場は年間160万円ほどの収益である。

事務局説明

・令和4年度 公共下水道事業会計決算報告について 事務局説明

○質疑

- 委員 下水道事業の補助率は50%程度か。
- 事務局 そのとおりである。
- 委員 交付された補助金については、一度に収益とするのではなく、複数年で収益化していると思うが、その計算方法を教えてほしい。
- 事務局 例えば、減価償却費は固定資産を取得したときにかかった費用を9掛けし、それを耐用年数で割り、毎年の負担額としている。
長期前受金戻入益についても、それと同様であり、取得した際に得た収入を減価償却費に対応するように耐用年数で割り、毎年の収益として計上している。
- 委員 向日市には50年以上経過した排水管は無いとのことであるが、最長で何年経過した排水管があるのか。
- 事務局 令和8年頃から50年を経過する管が出てくるが、50年経過するとすぐに壊れるわけではない。事業の説明でもあったが、カメラ調査を実施し、補修が必要な箇所を特定したうえで、修繕を行っている。
- 会長 排水管の使用頻度や、周りの土質により劣化状況は変わってくる。今説明があったとおり、調査をしながら、劣化がみられるところから優先順位をつけて直していくということである。
- 会長 デザインマンホールについて、例えば小学生が下水に興味を持つような副次的な利用は行っているか。
- 事務局 向日市を知っていただくために、マンホールカードを2,000枚作製し、配布したところ、人気があり直ちに配布を終了した。
- 会長 マンホールはマニアに人気である。子供に下水道事業に理解を深めるよう利用を検討してほしい。
- 会長 下水は有収率が低いがなぜか。
- 事務局 管路に地下水が流入し、浄化センターに流れ込む量が多くなると有収率が下

がる。

委員 デザインマンホールについて、市制50周年で13か所設置したとのことであるが、13か所で500万円は高いと思う。

事務局 マンホールだけの値段ではなく、古いマンホールの撤去や、舗装工事も含めた金額であるため、若干割高ではあるが、妥当な金額である。

委員 デザインマンホールの設置個所13か所はどこか。

事務局 設置場所は市の広報やホームページでお知らせしている。カラーマンホールの耐久性のため自動車の通行が少なく、人通りが多い公共施設や、地域のバランス等を踏まえて、13か所を選定した。

委員 デザインマンホールにかかった500万円については必要不可欠なものではないため、近隣の市民の方から意見を聴取するなどの検証が必要であると考え

事務局 市外の方からの問い合わせも多く、マンホールカードも好評であり、向日市を市外の人にPRする効果はあったものとする。

事務局 経営戦略にも掲載しており、これからもPRしていく。

委員 下水道事業に控除対象外の消費税があるが、原因はなにか？

事務局 下水道会計については、一般会計から不課税の繰入金を受入れており、それを課税支出に充てているため、その分の特定収入が控除対象外となっている。

議事2 【向日市上下水道事業経営戦略（案）について】

副会長報告

- ・向日市上下水道事業経営戦略の改定案について、進捗状況及び現段階の改定案を報告

事務局説明

- ・向日市上下水道事業経営戦略（案）のうち水道事業について 事務局説明

○質疑

委員 基幹管路の耐震適合率の60%以上（令和15年度）とあるが、目標設定の根拠はあるか。

例えば、断層のおおる箇所から重点的に耐震化を実施するなど、目標の設定や、実施計画についての考え方を教えてほしい。

事務局 基幹管路の耐震適合率については、資料16ページ下段にある資料を参照されたい。

これまでに工事を行ってきた管路への通水が令和5年度から6年度にかけて行われるため、加速度的に耐震化率が上昇する見込みとなっている。令和7年度以降は、これまでの実績を踏まえ、優先順位をつけ計画的に更新を行っていく予定である。

委員 耐震適合率が90%となったから安心というわけではないため、例えば、活断層のありそうな箇所から行うなどの評価基準が必要であるとする。

事務局 優先順位をつけるための評価基準についても考えてまいりたい。

- 委員 資料8ページの給水収益の見込みについてであるが、森本東部地区や阪急洛西口駅西地区、向日町駅周辺の開発が落ち着く令和10年度以降から、人口減少の影響により給水収益が下がるとの説明であったが、事業所と個人の割合については把握しているか。
- 事務局 事業所と個人の割合は、今示すことができないが、森本東部地区や阪急洛西口駅西地区、向日町駅周辺の各事業によりどれだけ水需要が増加するかについては、予測を立てている。
- 委員 そのうえで令和10年度以降に、人口減少の影響により給水収益が減少していく見込みである。
- 事務局 資料23ページの(4)に「収支計画表に見込んでいない多額の費用が毎年発生すると想定している」とあるが、ある程度は見込んだ方がよいのではないか。
- 会長 管路や浄水場施設など、劣化が進んでいるものについては、把握しているが、突発的に発生する修繕については、予測が困難である。
- 事務局 突発的に発生する修繕とはどのようなものが考えられるのか。
- 会長 浄水場施設は大きな機器を保有しており、劣化状況に応じた更新の計画は立てているが、想定よりも前倒しで故障するなどにより、緊急で修繕が必要となることがある。
- 委員 また、設置から年数が経過した井戸について、更新にどれだけ費用をかけるかなどの調査を実施しているが、現時点では調査の結果がでておらず、このような表現としている。
- 事務局 計画的に修繕を実施していると思うが、洛西ニュータウンでは下水管に小さな穴が開き、隣のガス管に水が入るといった事故も起こっており、そのような緊急対応が必要な場合も想定しているということと理解する。
- 会長 今後人口が減少していくとの説明であったがその根拠は何か。
- 事務局 向日市ふるさと創生計画に人口推計を示しており、今後人口が減少していくことは否めない事実である。水需要については、開発の影響により令和10年度までは増加し、それ以降は減少していくものと想定している。
- 委員 日本全体の人口が減少しており、向日市だけが増えるということはなかなか難しいことである。

事務局説明

- ・向日市上下水道事業経営戦略(案)のうち下水道事業について 事務局説明

○質疑

- 委員 基準外繰入金が一定の割合を超えたら、料金改定を行うことをあらかじめ決めておいたら、改定の際に混乱を避けられるのではないか。
- 事務局 少しずつ検討を始めなければならないと考えるが、料金を改定するにあたって、府営水道の料金改定の時期も踏まえ、適切な料金改定の時期を検討する必要がある。
- 会長 人口が今後減少していく中で、料金を変えずに水道や下水道施設の維持等と費用を均衡させることは困難である。水道会計の現在の状況を市民の皆様にご

- 委員 理解いただいたうえで、時間をかけて合意形成を図っていくことが重要である。
経営戦略の策定までの今後のスケジュールは。
- 事務局 まず、委員の皆様から頂いたご意見を踏まえて修正が必要なところは修正する。修正案を会長、副会長に確認いただいたあとで、パブリックコメントにより、市民の皆様から意見を求めたうえで、策定に至ります。
次回の懇談会では、パブリックコメントで提出されたご意見や、市の考え方などについても、説明させていただく予定である。

議事3 【その他】

事務局説明

- ・日吉ダムの渇水状況について 事務局説明